

常総学院同窓会会報

発行／常総学院高等学校同窓会 編集人／同窓会会報編集委員会 委員長／飯田晃久 印刷／(株)塚田印刷



再び常総学院の今を語る

〈卒業生の皆さんへの便り〉



中学校・高等学校

校長 原田敏和

卒業生の皆さん、お元気で過ごしてでしょうか。

今年、常総学院は、高校開校二五年目、中学校開校一二年目を迎えました。生徒指導、学習指導、部活動指導、さらに進路指導の徹底で着実に成果を達成してきました。全国レベルで「文武両道の活力ある進学校」として、殊に「学力を伸ばすなら常総」と評価されるに至っています。

ここ数年、「週刊朝日」「サンデー毎日」「読売ウィークリー」といった新聞社系の週刊誌を始めとして、「週刊東洋経済」といったビジネス雑誌にも本校を評価する記事が

多々見られるようになりました。その評価の基となっているものは、本校が開校以来、生徒のモチベーションを高め、夢中で学ぶ環境づくりに努めてきたこと、大学の現役合格達成と大学の先の人生を見据えた学習・進路指導に努めてきたことにあると考えています。

日本の現況を見ると、まことに不透明な閉塞状況の中にあるように思われます。少子高齢化、それに伴う人口の減少、社会構造の激変、様々な場面での二極分化等、新たな格差社会が生まれています。学校教育の現場でも、全国的に学力低下、学級

崩壊、いじめの問題等が叫ばれて久しい状況にあります。

平成一七年三月、日本青少年研究所による『高校生学習意識と日常生活調査』によれば「学校外での学習ゼロ」の高校生が「日本四五％・アメリカ一五％・中国八％」という結果が出されています。

また、平成一六年一二月、OECD(経済協力開発機構)『学力到達度調査』によれば、「読解力」における世界ランキングをみると、日本は二〇〇〇年の八位が、二〇〇四年には一四位。さらに「数学的リテラシー(応用力)」については、二〇〇〇年の一位が、二〇〇四年には六位と急激に下降しています。如何にしてこの状況を打開、変革していくのか、国家的な重要課題です。

さて、こうした状況下、本校教育活動の基本方針は、常に生徒の成長に貢献することに重点を置いてきました。

本校教育活動の第一のキーワードは『プライド』です。「プライド」とは、「自己肯定感」さらには「周囲から必要とされ、敬意を表される充実感」をさします。個々の生徒が、高い志と深い智慧とを育み、

社会貢献の道を拓く教育活動を展開していくのです。

第二のキーワードは『具体的な目標』です。「具体的な目標」とは、「周囲を活かし、自らをも活かすことのできるビジョン」をさします。具体的な目標を見定め、自らを律し、努力し続ける生徒を育てる教育活動を展開していくのです。

過去四半世紀に渡って、本校が大学進学を勧めてきた意味は、大学を人生における最後の準備期間として位置づけ、さらに大学の先の人生を考えること。中学・高校・大学生活を通じて、生徒が自らのライフワークを見出すこと。職業選択の幅を広げ、人生におけるチャンス、可能性を拡張していくことにあります。

個々の生徒が、どんな仕事を通じて生活の糧を得、社会に貢献していくのか。如何にして二一世紀の地域社会を、日本を、地球世界を担っていくのか。そのためにどのような大学・学部を選び、学んでいくのかを考えさせます。入学できる大学選択ではなく、入学したい大学学部の選択なのです。

セルフイメージの大きい人ほど大きな成長と成果を手にすること

ができます。常に自らを可能性のある存在として捉え、限界を作らないこと。まさに今を生きる事なのです。如何なる状況下にあっても、今、自らが為すべきことを勇気を持って成し遂げようと取り組む在り方を常に貫いて欲しいのです。

常総学院は、生徒一人一人が、自らの存在意義、目的、使命を見出し、掛け替えない人生を輝いて生きることに全力で応援し、指導していきます。若い時代に、心も体も頭も鍛えることが、将来への大きなバネとなります。学ぶべき時に、精一杯学ぶことの大切さに気づいて欲しいと願い、指導しています。

学校生活の基本的な在り方は、基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成にあります。これは学力向上の基礎、基本となるものです。当り前のことを当たり前にすること。すなわち、爽やかに挨拶をすること、清潔感のある頭髮・服装で過ごすこと、精勤・皆勤に努めることなど、無我夢中で学ぶ環境作りに努めています。

学業・部活動・生徒会・ボランティア活動等に積極的に参画する

ことで、感動的な学園生活を、活き活きと輝いて過ごす、思い出多い学園生活の実現をめざしています。その過程で、生徒は人としてプライド高く生きる在り方を深く学んでいくのです。

学習の基本的な在り方は、学校で学んだ知識を、知恵(すなわち生活の知恵というレベルに至るまで)に、生きるエネルギーに変えていく指導展開をめざしています。真の意味で学力を付けるということは、人間的な成長を促す基礎であり、基本です。

学校は、文字通り学びの場です。授業が大事であり、定期試験の得点力が大事なのです。「何のために学ぶのか」「何になりたいのか」「何をして生きていくのか」を常に問い続けます。

個々の生徒が自らの目標を明確に持ち、その目標に向かってひたむきに努力し続ける環境を作っていくのです。

その試みの具体例を一部紹介しますと、高校では、図書館を夜一時まで許可制で自習室として開放しています。連日真剣な学習への取り組みが見られます。

また、「鴻志寮」という学習寮を新たに開設しました。高校の男子生徒については、ロングステイと称して、希望によって入寮、学力と人間関係力の伸長に力を注いでいます。さらに、中学一年から高校三年まで、全生徒対象に、こちらはショートステイと称して、平日の授業日に、二泊三日の学習合宿をクラス毎に実施し、自主学習の習慣化をめざしています。

またさらに、英単語テスト・漢字テスト等を定期的に実施して、基礎学力の向上を図っています。

生徒こそ常総学院における主人公です。自己中心的な時代風潮の中で、個々の生徒が、「感謝の心」と「寛容の精神」と「貢献の意識」を持って、「他に利する在り方」を生き、地球社会に、日本に、地球世界に寄与する人材を育てます。

生徒が生き生きと学び成長する源は、言うまでもなく私達教職員が、生き生きと学び教えることにあります。

高校開校以来、生徒・保護者・教職員が一体となって地域社会に支持され愛される学園創造をめざしてきました。

生徒も保護者の皆さんも教職員

も掛け替えのない常総学院創造の大切な担い手なのです。家庭と学校との連携、教育方針の一致、信頼関係の確立こそ肝要です。ともに手を携え、生徒のために優しさで厳しさとを持って取り組んでいきます。

そして卒業時に、卒業後に、常総学院に学んで本当に良かったと喜ばれる学校でありたいと願いつつ、一日一日の教育活動に邁進しています。

過日、ある卒業生のお母さんから嬉しいお話を頂きました。それは、「センター試験で私立大学に合格したクラスメイトが、国立大学をめざす娘のためにチョコレート菓子の『キットカット』に、激励のメッセージをひとつひとつ丁寧に書いてプレゼントしてくれました。現役で大学に合格できたことは勿論嬉しいことですが、それとともに常総学院で素晴らしい生涯の友人を得たことは、この上もない喜びです」と語ってくれました。まさに「利他」の在り方そのものであり、教師冥利に尽きるお話です。

兄弟姉妹が常総学院生というご家族がたくさんあります。卒業生

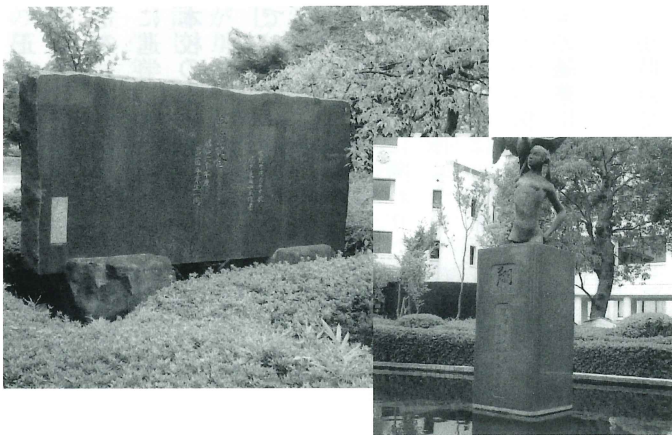
が本校の教職員として何人も帰ってきてくれています。さらに卒業生の二世が、本校に入学してきてくれる時代が、すでに始まっています。

作家曾野綾子さんは、学校という場について、次のように語っておられます。「学校は知識を得ると共に、人生を知り、苦難に耐えて生き抜く心身を鍛え、その技術

を覚え、多様な人々と共生し、賢く闘っていく社会というものの雛形を体験するところである」と。

一万六五〇〇人を超える卒業生の皆さんが、日本の、世界の各地で、ますます活躍され、貢献の道を歩まれることを心から祈りつつ、やっとなつた秋の心地よい日差しのもとで筆を置きます。

平成一九年一〇月のよき日に



卒業生より

在学当時の思い出と

現在の活動状況

西武ライオンズ

十八期生 大崎雄太郎

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。この度常総学院同窓会から会誌「第八回同窓会会報」に私を紹介していただけると聞き、大変嬉しく思います。それと共に、宮崎県での総期間五〇日に及ぶフェニックスリーグ（練習試合）と一軍キャンプ帯同のこの時期に原稿を書くという、まさに学生の身分である文武両道を思わされます。

現在、私は埼玉県所沢市に本拠地を置く西武ライオンズに所属しています。簡単に年間のスケジュールを紹介すると、プロ野球選手の年間実働期間は二月から一月まで。そして、四月から一〇月上旬までがレギュラーシーズン。また、二月から三月、一〇月中旬から一月がオープン戦やキャンプとなります。ふと考えてみると、少年時代から身近にあった「野球」が

キャンパスに


描く未来予想図

「活躍する常総学院卒業生」

今年で創立二五周年を迎えた常総学院。さまざまな方面で活躍するOB・OGを輩出するようになりまし。今回はその中からお二人を紹介しします。

医師
15期生 **歌島大輔** さん

つくば市立谷田部東中学校出身
山形大学医学部医学科に現役合格
現在、取手市内の病院に勤務



高校時代の思い出は何ですか？

球技大会や陸上競技会でスポーツクラスの人たちと競ったのが一番思い出深いです。

なぜ常総学院に

進学したのでしょうか？

正直に言えば、第一志望の公立高校が不合格だったからです。私立のレベルの高さを考え常総学院に進学しました。

本校の先生たちの印象は？

非常に教育熱心で、個性が豊かで、自分の指導を貫いている感じがありました。

今の職業に就いたきっかけは？

スポーツに関わりたくて、それなら人の身体について最も専門的に学べるのは医学部だろうという考えから医学部に行きました。

今の職業に就いてよかったですか？

やりがいは何ですか？

現時点では、やりたいことと言うよりは研修医ということであるんな科を廻って経験を積んでいる段階ですが、やはり人に感謝されるということ、また一人として同じ人はいないわけで、まったく同じ医療を施すことがないというところにやりがいを感じます。

本校での経験で

役に立ったことはありますか？

勉強する習慣が身についたことです。

本校の卒業生として

自慢できることはありますか？

それはやはり、野球で有名なことですね。大学では野球部に入っていたので、出身高校が常総学院ってことで対戦相手に相当ビビられました。高校在籍時には帰宅部でしたが…（笑）！

思ふことは何でしょうか？

予備校にも塾にも通わずに現役で医学部に合格できたのは、熱心にご指導してくださった先生方のおかげだと思っています。これが一番ですね。



今では職業となり、夢を現実に行っている喜びが湧いてきます。しかし、その反面自分のプレーと言動、行動に責任を持たなければなりません。プロ野球は、毎日が厳しい世界ですから高校時代を思い出すと懐しく思います。

私が高校時代において懐しく思う事は甲子園大会ではなく甲子園出場という目標に仲間と寝起きを共にし、勉強と練習に明け暮れた普段の生活です。その時の感情はその時にしか味わえませんが、甲子園出場という目標を仲間、監督コーチそして学校関係者と、たくさんの人々と共有できる事は高校野球にしか無いと思います。

私は、常総学院高校で野球の基礎を学び、たくさんのお出でを残す事ができました。学校関係者の皆様、これからの生徒のために野球部、そして他の部活動を盛り上げていただける事を期待していません。

最後になりますが、同窓会の皆様私に手記掲載の機会を頂き改めて御礼申し上げます。



研究者 成島哲也 さん
7期生



つくばみらい市立谷和原中学校出身
筑波大学第一学群自然科学卒業
その後博士号(理学)取得
東京大学物性研究所 リサーチフェローなどを経て
現在 大学共同利用機関法人自然科学研究機構
分子科学研究所 光分子科学研究領域
光分子科学第一研究部門 助教
最先端ナノテクノロジーの研究者として活躍中

【研究内容】
<http://www.ims.ac.jp/organization/staff.html>
【イギリス物理学会で選ばれた優秀論文集】
http://ej.iop.org/pdf/ipcm/2004_top_papers.pdf

常総学院の先生たちの印象は？

確か当時の先生方の平均年齢は二〇歳代と、とても若かったと記憶しています。その中でも一年次の担任と物理の先生コンビがとてもユニークで印象的でした。先生の出身大学である筑波大学でのいろいろな経験談や人生観みたいなものを非常に楽しく聞かせていただきました。その影響で、一年生のときから同じ筑波大学に入ろう！と思って、実際、筑波大に入学しました。(家が近かったですし。)

在学中、特に印象的なことを教えてください。

常総学院には、身近にスポーツや芸術分野で全国レベルで活躍している人がたくさんいたので、す

ごく励みになりました。常総学院を卒業してよかったと思ふことは？また自慢できるところはありますか？

たくさん個性的な友達ができたとだと思います。現在社会の第一線で働いている同期がたくさんいます。いわゆる伝統校とかではないので、実力勝負という感じが好きでした。

今の職業に就いたきっかけは？

はじめは自動車が小さい頃から大好きだったので、将来は自動車メーカーに入って車の設計をやるうと思っていました。そのことを入学前(合格後)のガイダンス時に、物理の先生に言ったところ、「そのためには2年生から始める物理がとて大切だから、一生懸命勉強したほうがいい。」とアドバイスしていただいたので、それを素直に受け止めて、「物理」だけは随分と一生懸命勉強しました。そのうち、興味が「自動車」から純粋な「物理」そのものへと移り、大学でも物理学を専攻することになりました。そして、あとはそのまま、大学院といくつかの国内外の研究機関を経て今の職場にたどり着きました。

今の職業に就いてよかったことや、やりがいは何ですか？

私が行っている基礎的な研究は、現時点では直接何の役に立つのか分からないことを対象としています。そのため一般にはあまり理解してもらえない事が多いですが、世界で誰も見たことのない現象などを発見したときには、とてもワクワクします。また、それがどうして起きるのかということをとことん突き詰めていくうちにさらに理解が深まり、いろいろなことが分かっていく。こういう事を仕事として自由にできるのが、一番の魅力だと思います。

いろいろな国の人と研究を通して公私ともにつきあえるのも、なかなかできないことだと思うのでとても良いことだと思います。



部
紹
介

応援指導部

今年度スローガン

「団結」

二十四期生 副團長 結束祐太

部員紹介

團長 倉持 竜也
(坂東市立南中学校)

副團長 結束 祐太
(土浦市立都和中学校)

リーダー長 望月 仁
(かすみがうら市立下稲吉中学校)

対手長 宮下 裏
(取手市立藤代南中学校)

旗手長 國分 大地
(阿見町立竹来中学校)

一年 桜井 大樹
(つくば市立並木中学校)

志村 康平
(土浦市立土浦第六中学校)

渋谷 翔一
(常総学院中学校)

平岡 怜
(常総学院中学校)

(常総学院中学校)



私たちは現在部員九名で日々練習に励んでおります。各部員の入部動機は様々ですが全員が共通して「母校愛」を持っております。自分がこれまでの活動を通して思っ

たことは、応援団という縦社会で厳しい練習に耐えた分、母校を勝利に導いた時の喜びは極上のものだということ。自分はその喜びを味わったからこそ応援指導部

はどこよりもすばらしいと感じました。その先駆けとして、今年こそ野球部が力以上の成績を残せるよう全力で応援して参ります。

チアリーディング部

部長 近藤 菜々美

私たちチアリーディング部は、二年生八人、一年生一〇人計一八人で毎日練習しています。毎年、六月に行われるミスダンスドリルチーム大会を中心に日々ダンスやスタントを練習しています。

部員全員、練習の時には笑顔と声をかけ合うことを忘れないように心がけ、元気に部活動に励んでいます。チアリーディングは演技を見てくれるすべての人たちに元



気を与えるスポーツなので、練習のときから笑顔で明るく楽しくやるように心がけています。またスタントには仲間の命がかかっているの、気をゆるめず集中して取り組んでいます。たとえ失敗しても仲間と共に励まし合い頑張っています。すごく良い演技ができるよう厳しい練習に耐えてきたからこそたくさんの方の前で良い演技ができた時には本当に嬉しいです。私はチアリーディング部に入部して信頼できる最高の仲間ができました。これからも大切な仲間と大好きなチアを楽しんでいきます。

成人式開催

二十期生 高橋 安大

昨年三月二五日、私達常総学院中学校四期生は、常総学院中学校の協力の下、同校で二〇歳の成人を祝う会を開催することが出来ました。会にはお世話になった中学校、高校の多くの先生方にご出席頂き、本当にありがとうございました。

また、当日ご出席いただけなかった先生方からも温かいお言葉や、会の開催費などを賜りました。この場をお借りして、お礼申し上げます。

さて、会では、参加いただいた先生方や、級友との久しぶりの再会を楽しむことが出来ました。中学、高校時代の思い出話、今だからこそ言える話を食事しながら交え、同級生の意外な過去や私達のために苦労なされた



先生の当時の気持ちを知ることにも出来ました。時間が過ぎるのが本当に早く、そのまま2次会に移る人たちもいたようです。これから四期生も就職活動などが始まって忙しい時期に入ります。社会人になっても常総学院での教えを守り、またこのように楽しい同窓会が開けることを期待しています。

本年度

卒業生より

二期生 中島直輝



昨年、常総学院を卒業し、はや一年。もう私は大学生であることに慣れました。

卒業した今、感じるのは常総ってやっぱり名門だということ。強化部の活動だけではありません。私にはそれを実感した出来事があるので、ご紹介します。

それは先日、常総を訪問したときのことです。校舎を歩いていると、チアリーダー部の部長が私を見てこんにちはと挨拶をしてきてくれたのです。確かに今の上級生なら昨年まで生徒会長をしていたので、顔は覚えていたかもしれない。でも見た目は若いお兄ちゃんですから笑。目上の方だけでなく自分にまで挨拶をしてくれたこ

とは本当に嬉しい出来事でした。常総のOBとして誇りに思います。

三年生は今、志望校合格に向けて受験勉強に励んでいることだと思えます。みなさんはなぜ、良い大学を目指すのでしょうか？それが去年の今頃、私は曖昧でした。でも今は念願の早稲田大学に通うことができ、少しは分かったような気がします。それに対する私の答えは同じ目標を持つ人との出会いだと思えます。

現在、私は早稲田スポーツ新聞会という早大の体育部を扱ったスポーツ新聞を作るサークルに所属しています。そこでの出会いで私は彼らとともに良い新聞を作るために頑張ると心に決めましたもちろん、彼らの人柄もそうですが、同じ目標を持っているということがそういう気持ちにさせるのだと思います。ぜひ、三年生には志望校の合格を勝ち取り、良い出会いに恵まれて欲しいと思います。

思えば、私の高校生活はワセダに行きたいという気持ちから勉強ばかりしていました。一、二年生にはいろんなことにチャレンジしてもらいたい。一回、高校生活やったので分かるけど、勉強する時間っ

て結構作れたと思います。だからメリハリをつけて、いろんなことにチャレンジしてください。

最後になりましたが、先生方には卒業した今でも感謝の思いでいっぱいです。これからも常総学院をよろしくお願い致します。

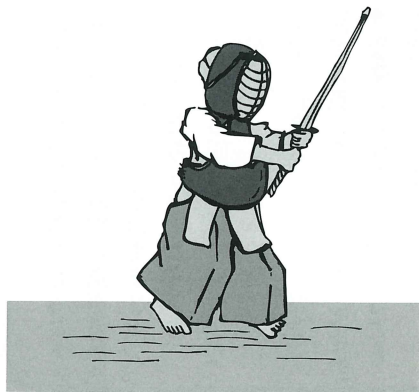
二期生 田村江梨佳

お久しぶりです。去年卒業した第二期生徒会副会長の田村江梨佳です。卒業してから半年以上経過しましたが、現役のころのことを思い出すと今でも昨日のこのように覚えていきます。在学中の私は勉強と生徒会と剣道部主将としての毎日を両立させるのに悪戦苦闘していました。ですが、常に私には助言してくれる先生方、優しく見守って下さった先輩方、そばにいてくれ励ましてくれた友達、最後まで文句も言わずについてきてくれた後輩達があったので最高の高校生活を送ることが出来ました。常総学院でなかったらこのような経験はできなかったと思います。

現在、私は学習院大学経済学部経営学科に学んでいます。

大学は高校までとは違い自分の

興味ある分野を幅広く学ぶことができます。ただ、注意や助言をしてくれる人がいないので何をすることも全て自分の責任になります。学習院大学は都心にあるのにもかかわらず自然が多い大学で私は緑に囲まれながら経営学の勉強をしています。友達にも恵まれ充実した大学生活を送っています。最後に、本格的に寒くなってきたので風邪などひかないよう気をつけてください。高校三年生は自分を信じて最後まで諦めず受験を勝ち取ってください。高校一、二年生は基礎をしっかり身につけてください。特に英語を早いうちからやっておくと良いスタートがきれます。また、資格試験にもチャレンジしてみると自信につながります。



在校生より

京都・奈良

研修旅行を終えて

常総学院中学校二年 田川 萌子

今回の京都・奈良研修旅行のおかげで、正直今まで興味はなかったお寺や仏像がとても美しく目に映ったし、面白かった。一つ一つのお寺にある仏像たちを大事に願いや祈りをこめて、昔の人々はつくっていたんだなど実感した。今にも動き出しそうな像を見ていると改めて、昔の人々の感性といい、それを表現する技術も本当に素晴らしいなと思った。日本に多くの人たちが外国から訪れるのはきっと日本の歴史的な物は世界共通の美しさを持っているからだと思う。私たちは日本に生まれた事に責任と誇りを持って、大切に歴史や伝統を守っていかなければいけないと感じた。

二年 町田 大地

僕は奈良・京都研修旅行を終えて、寺などについて研修旅行に行く前に比べて興味や親しみを持つようになったと自分では思いま



す。行く前までは寺や仏像なんて全くおもしろくないと思っていました。でも、寺や仏像をもっとくわしく見てみると、静けさの中にある様々な音や仏像一体一体が持っている雰囲気などを感じるととてもおもしろくていつまでも見ているられると思える程でした。僕は、このような今の日本人が忘れかけている物を感じさせてもらえる機会を与えてくださった先生方に本当に感謝しています。

部活動実績

平成18年8月～平成19年9月

運動系

■硬式野球部

8月 第88回全国高等学校野球選手権大会 出場

10月 第59回秋季関東地区高校野球大会茨城県大会 2回戦

5月 平成19年度春季関東地区高校野球茨城県大会 ベスト4

7月 第89回全国高等学校野球選手権大会茨城県大会 優勝

8月 第89回全国高等学校野球選手権大会 出場

■硬式テニス部

8月 夏季少女テニス選手権大会茨城県大会 男子シングルス 出場/女子シングルス 出場

2月 平成18年度県南選手権大会女子シングルス ベスト16

5月 平成19年度茨城県高校テニス大会・兼関東高校テニス大会県大会 男子団体出場/男子ダブルス ベスト16

6月 平成19年度全国高等学校総合テニス競技県南予選 男子団体優勝/女子団体 5位

平成19年度全国高等学校総合テニス競技茨城県大会 男子団体ベスト16/男子ダブルス 出場

8月 夏季少女テニス選手権大会茨城県大会 男子シングルス2名 出場

■男子バレーボール部

12月 平成18年度茨城県高等学校男女バレーボール新人大会 ベスト4

2月 第18回茨城県高等学校バレーボール選抜優勝大会

5月 平成19年度関東高校男子バレーボール大会県予選 第3位

6月 平成19年度関東高等学校男子バレーボール大会 出場

平成19年度全国高校総体バレーボール大会県予選 ベスト4

7月 平成19年度第15回関東私立高等学校男女バレーボール選手権大会 出場

平成19年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会県予選 ベスト4

9月 平成19年度茨城県私立高等学校男女バレーボール選手権大会 準優勝

10月 平成18年度県南地区男女バレーボール選手権大会出場 ベスト8

11月 平成18年度高等学校男女バレーボール新人大会 県南地区予選 出場 2回戦敗退(ベスト8)

4月 平成19年度関東高等学校男女バレーボール大会 県南地区予選 出場

6月 平成19年度高等学校男女バレーボール県民総体兼国民体育大会全国高校総体県南地区予選会 出場

7月 平成19年度天皇杯・皇后杯全

日本バレーボール選手権大会県予選 出場

9月 平成19年度茨城県私立高等学校男女バレーボール選手権大会 出場

■男子バスケットボール部

12月 平成18年度関東高等学校新人バスケットボール大会茨城県南A地区予選会 第3位

1月 平成18年度関東高等学校新人バスケットボール大会茨城県予選会

4月 平成19年度関東高等学校バスケットボール茨城県南予選 3位

5月 平成19年度関東高等学校バスケットボール茨城県直予選 ベスト16

平成19年度全国高校総合体育大会バスケットボール茨城県南予選 3位

6月 平成19年度全国高校総合体育大会バスケットボール茨城県予選 出場

4月 平成19年度関東高等学校バスケットボール茨城県南予選 出場

5月 平成19年度全国高校総合体育大会バスケットボール茨城県南予選 出場

10月 平成18年度全国高等学校サッカー選手権大会茨城県大会 ベスト16

5月 平成19年度関東高校サッカー茨城県大会 ベスト16

6月 全国高校総合体育大会サッカー県大会 ベスト16

■ラグビー部

11月 平成18年度全国高等学校総合体育大会兼第85回全国高等学校ラグビーフットボール大会茨城県予選 ベスト16

1月 平成18年度茨城県高等学校ラグビーフットボール大会

5月 平成19年度第55回関東高校ラグビーフットボール大会県大会 ベスト16

6月 平成19年度県民総合体育大会兼第62回国民体育大会ラグビーフットボール大会茨城県大会

8月 全国高校総合体育大会バドミントン 団体1回戦/シングルス

9月 全日本ジュニアバドミントン大会 木村 シングルス出場

11月 第1回アジアユース2006バドミントン選手権大会 木村 シングルス予選2回戦敗退

茨城県新人戦 団体1位/ダブルス2位 藤井・木村 3位 篠崎・野口 6位 小林・森田/シングルス2位 木村 3位 野口 4位 藤井

12月 関東高校選抜バドミントン大会 ダブルス ベスト16 藤井・木村 1回戦 篠崎・野口/シングルス ベスト16 木村 2回戦 野口 藤井

3月 全国高校選抜バドミントン大会

会 出場

4月 関東高校バドミントン選手権大会県予選 団体優勝

5月 関東高校バドミントン選手権大会 団体3位

6月 全国高校総合体育大会バドミントン県大会 団体1位/シングルス2位/ダブルス 2位

8月 全国高校総合体育大会バドミントン 団体2回戦 ベスト32/シングルス 野口秀之 1回戦/ダブルス 藤井恵太・木村裕樹組 1回戦

9月 全日本ジュニアバドミントン大会 野口秀之 シングルス出場

8月 全国高校総合体育大会バドミントン 団体2回戦/シングルス

9月 全日本ジュニアバドミントン大会 野口秀之・森田真也組 ダブルス 出場

8月 全国高校総合体育大会バドミントン 団体2回戦/シングルス

10月 第61回国民体育大会 少年女子 ベスト16 高野・菊山・相澤

11月 茨城県新人戦 団体1位/ダブルス4位 間中・佐藤/シングルス1位 間中 3位 佐藤

12月 関東高校選抜バドミントン大会 ダブルス2回戦 間中・佐藤/シングルスベスト16 佐藤 2回戦 間中

3月 全国高校選抜バドミントン大会 出場

4月 関東高校バドミントン選手権大会県予選 団体5位

6月 全国高校総合体育大会バドミントン県大会 団体 3位/シングルス1位/ダブルス 3位

8月 全国高校総合体育大会バドミントン シングルス 佐藤詩織 2回戦

9月 全日本ジュニアバドミントン大会 シングルス出場 佐藤詩織/ダブルス 出場 佐藤詩織・中山喜子組

11月 平成18年度茨城県高等学校柔道新人大会 個人81kg級ベスト16 2名/団体ベスト8

6月 第56回全国高等学校柔道大会県予選 男子団体 ベスト16

11月 茨城県団体勝ち抜き大会 ベスト32

1月 茨城県選抜大会茨城県新人大会兼全国大会予選 出場

4月 平成19年度県南地区春季剣道大会 男女ベスト8

5月 平成19年度春季関東大会県予選 男子団体ベスト16/女子 2回戦/個人男子 ベスト16

6月 平成19年度全国高校総体県予選 女子団体 ベスト16/男子 団体 2回戦

11月 茨城県陸上競技大会県大会 出場 男子400m 三好生起/男子槍投げ 三段跳び 安田 巧

11月 茨城県陸上競技大会県大会 出場 男子400m 三好生起/男子槍投げ 三段跳び 安田 巧

11月 茨城県陸上競技大会県大会 出場 男子400m 三好生起/男子槍投げ 三段跳び 安田 巧

11月 茨城県陸上競技大会県大会 出場 男子400m 三好生起/男子槍投げ 三段跳び 安田 巧

11月 茨城県陸上競技大会県大会 出場 男子400m 三好生起/男子槍投げ 三段跳び 安田 巧

11月 茨城県陸上競技大会県大会 出場 男子400m 三好生起/男子槍投げ 三段跳び 安田 巧

11月 茨城県陸上競技大会県大会 出場 男子400m 三好生起/男子槍投げ 三段跳び 安田 巧

11月 茨城県陸上競技大会県大会 出場 男子400m 三好生起/男子槍投げ 三段跳び 安田 巧

11月 茨城県陸上競技大会県大会 出場 男子400m 三好生起/男子槍投げ 三段跳び 安田 巧

■ 駅伝部

8月 第79回関東陸上競技選手権大会 一〇、〇〇〇m 荻津優・我妻美穂 出場

10月 第47回茨城県高等学校陸上競技新人大会 三〇〇〇m 8位 大川紘奈／9位 梅内絵里嘉

11月 第15回関東高等学校駅伝大会 出場 ※14年連続

第15回関東高校女子駅伝競走大会 茨城県予選会 4位

1月 第2回常総マラソン (5km) 優勝 梅内絵里嘉／2位 大川紘奈／3位 星野純子

第53回全国勝田マラソン大会 15位 梅内絵里嘉

2月 第17回茨城県高等学校新人女子駅伝大会 準優勝

4月 平成19年度県南地区高等学校陸上競技大会 八〇〇m 2位・星野純子 5位・櫻井 彩／一五〇〇m 2位・大川紘奈 4位・梅内絵里嘉 6位・我妻美穂／三〇〇〇m 2位・大川紘奈 3位・梅内絵里嘉 6位・久保田奈緒美

5月 第60回茨城県高等学校陸上競技対校選手権大会 出場 八〇〇m・一五〇〇m・三〇〇〇m 大川紘奈・7位入賞

7月 第36回茨城県高等学校陸上競技学年別選手権大会 男子三〇〇〇m 6位 田中尚人／女子三〇〇〇m 8位 大川紘奈／女子一五〇〇m 優勝 星野純子

■ 水泳部

8月 第80回関東陸上競技選手権大会 五〇〇〇m 出場 大川紘奈

8月 平成18年度全国高等学校総合体育大会第74回日本高等学校選手権水泳競技大会 男子一〇〇m 平泳ぎ第6位 堀井隆太／二〇〇m 平泳ぎ第9位 堀井隆太／女子二〇〇m 背泳ぎ第3位 島添紗妃

9月 平成18年度第61回国民体育大会夏季水泳競技大会 女子一〇〇m 背泳ぎ 優勝 島添紗妃／男子二〇〇m 平泳ぎ 堀井隆太 出場

10月 第61回国民体育大会 女子一〇〇m 背泳ぎ第1位 島添紗妃／男子一〇〇m 平泳ぎ第10位 堀井隆太

5月 第29回茨城県高校春季水泳競技大会 男子の部 優勝／女子の部 優勝

6月 第43回茨城県民総合体育大会水泳競技大会 男子の部 優勝／女子の部 優勝

第58回関東高校水泳競技大会県予選会第56回茨城県高等学校選手権水泳競技大会男子の部 優勝／女子の部 優勝

7月 平成19年度第58回関東高校水泳競技大会兼第75回日本高等学校選手権水泳競技大会関東地域予選会 女子一〇〇m 背泳ぎ第4位 島添紗妃／二〇〇m 背泳ぎ第2位 島添紗妃

8月 平成19年度全国高等学校総合

■ 弓道部

体育大会第75回日本高等学校選手権水泳大会 女子二〇〇m 背泳ぎ第4位 島添紗妃／一〇〇m 背泳ぎ 島添紗妃／二〇〇m 自由形 堀井隆太 出場 大関美芽／一〇〇m・二〇〇m バタフライ 出場 三原未夕／四〇〇m メドレー・フリーリレー 出場

9月 平成18年度第61回国民体育大会夏季水泳競技大会 女子一〇〇m 背泳ぎ 優勝 島添紗妃／男子二〇〇m 平泳ぎ 堀井隆太 出場

8月 関東高等学校弓道個人選手権大会 決勝進出

10月 県南A地区新人大会 出場

11月 行方市弓道大会・県南弓道大会 出場

1月 平成18年度冬季弓道大会 潮来市主催あやめ大会 射詰の部 優勝 横尾知香／射込の部 9位 横尾知香 12位 貝塚惇観 13位 森本将成

8月 関東高等学校弓道個人選手権大会 決勝進出 浅川寛彦

11月 関東高校ゴルフ選手権冬季大会 会東関東予選 男子51位 西野昌宏

6月 関東高校ゴルフ選手権関東大会 72位 西野昌宏

7月 関東ジュニアゴルフ予選 17

■ パワーリフティング部

位タイ 富田麻衣 青年の部優勝、国体出場 富田麻衣

9月 二〇〇六年度世界パワーリフティング選手権大会 男子個人60kg級 7位／82kg級 7位／67・5kg級 7位／82・5kg級 13位／女子個人60kg級 4位／67・5kg級 6位

11月 第22回 茨城県高等学校新人パワーリフティング選手権大会 男子団体 優勝／男子／個人56kg級・60kg級・67・5kg級・75kg級・82・5kg級・82・5kg級 優勝

3月 第4回全日本高等学校選抜パワーリフティング選手権大会 男子個人

5月 第24回茨城県高等学校パワーリフティング選手権大会 男子団体優勝／男子個人56kg級・67・5kg級・75kg級・82・5kg級・82・5kg級 優勝

8月 第25回全日本高等学校パワーリフティング選手権大会 男子団体 3位／男子個人56kg級 3位 森永寛通／67・5kg級 2位 内田翔太郎／4位 飯村貴弘／75kg級 1位 山中大樹／82・5kg級 5位橋本宗樹

8月 全日本選手権ジュニアの部県南予選 男子シングルスベスト40 伴翼／男子ダブルスベスト16 細

■ 卓球部

谷侑平・千葉浩貴、町田輝・柳井良知、岡本健五・古庄俊文
 11月 県新人戦 男子団体出場 3
 回戦敗退／女子団体出場 2 回戦敗退

12月 東京選手権(ジャパンオープン) 県予選 男子シングルス 伴翼・千葉浩貴 1次予選通過
 4月 関東高校卓球選手権大会 県南予選 女子団体 3位／男子シングルス ベスト16 町田輝／女子シングルス ベスト16 今野夏希／女子ダブルス ベスト8 森谷美紀・今野夏希 以上、県大会出場

5月 全国高校総体卓球選手権 県南予選 女子団体 準優勝／男子シングルス ベスト16 町田輝／ベスト16 居島峻磨 以上、県大会出場
 7月 土浦市民大会 女子シングルス 準優勝 森谷美紀／第3位 今野夏希／第3位 内田貴菜

8月 全日本卓球選手権大会 ジュニアの部 県南予選会 男子シングルス 第7位 居島峻磨／ベスト16 佐藤芳紀／ベスト32 森永圭／ダブルス ベスト16 居島峻磨・佐藤芳紀／ベスト16 古庄俊文・常田将寛／女子シングルス ベスト32 森谷美紀／ベスト32 今野夏希／ダブルス ベスト8 森谷美紀・今野夏希／ベスト16 内田貴菜・平塚由恵 以上、県大会出場

8月 全国高校総合体育大会 自転車競技 ロードレース 出場 笠原慶輔
 10月 第61回国民体育大会 笠原慶輔 自転車競技ポイントレース 出場

文化系

吹奏楽部

8月 平成18年度第46回茨城県吹奏楽コンクール 高校Cの部 金賞 平成18年度第45回茨城県吹奏楽コンクール 高校Aの部 金賞(県代表で東関東へ)
 9月 平成18年度第12回東関東吹奏楽コンクール 高校Aの部 金賞
 10月 平成18年度第54回全日本吹奏楽コンクール 高校の部 金賞
 11月 平成18年度アンサンブルコンテスト 県南地区大会 高校の部 クラリネット8重奏優秀賞(代表)／木管6重奏 優秀賞(代表)／金管8重奏 優秀賞(代表)

6月 東関東優秀団体演奏会 ドリムコンサート in 宇都宮 全日本吹奏楽コンクール3年連続出場記念演奏会 吹奏楽講習会
 8月 第47回茨城県吹奏楽コンクール 高Cの部 金賞

8月 JRC 県トレセン／シルトピア 夏休みボランティア／JRC 交流会

10月 あしなが募金活動／赤十字救急法フェスティバル／赤い羽根募金活動
 11月 JRC 国際交流会／高校生連絡協議会／1円玉モングル支援募金活動
 12月 クリスマス献血キャンペーン 協力／海外歳末助け合い募金活動 茨城・栃木JRC 連絡協議会 交流会
 4月 霞ヶ浦盲人マラソンボランティア／あしなが募金活動実施(つくば駅前)
 5月 GW 献血キャンペーンの呼びかけ
 6月 学校周辺清掃(テニス場周辺) 学校周辺清掃(野球場周辺)
 7月 JRC 高校生連絡協議会(第1回)／宇信高校交流会
 8月 JRC 高校生連絡協議会(第2回)／県JRCトレセン／JRC 交流会
 9月 JRC 高校生連絡協議会(第3回)

演劇公演協力

11月 茨城県高等学校演劇祭実行委員
 7月 茨城県南A地区高等学校演劇祭 祭出場
 10月 平成18年度茨城県高等学校芸術祭 美術展 写真の部 県教育長賞 入選 7名
 9月 平成19年度茨城県高等学校芸術祭 写真の部 入選 7名／1年 尼子正隆／2年 森真理恵／3年 古矢実里 星野貴秀 山口紗江子 茂呂雄甫 小森あずさ

9月 秋季高等学校囲碁大会(兼関東地区高校囲碁選手権大会予選会) 男子個人A級 一位 鶴飼啓介／男子個人C級 二位 白澤駿介
 6月 高等学校囲碁大会茨城県大会 Aリーグ優勝(全国大会出場決定)
 7月 全国高等学校囲碁大会 出場
 8月 全国高等学校文化祭囲碁部門 団体戦 茨城代表として出場 全国4位

11月 演劇による青少年の主張事業

11月 演劇による青少年の主張事業

囲碁同好会

11月 秋季高等学校囲碁大会(兼関東地区高校囲碁選手権大会予選会) 男子個人A級 一位 鶴飼啓介／男子個人C級 二位 白澤駿介
 6月 高等学校囲碁大会茨城県大会 Aリーグ優勝(全国大会出場決定)
 7月 全国高等学校囲碁大会 出場
 8月 全国高等学校文化祭囲碁部門 団体戦 茨城代表として出場 全国4位

11月 演劇による青少年の主張事業

11月 演劇による青少年の主張事業

進路指導室より

進路指導室長 菅谷博之

平成十九年度

大学入試を振り返って

— 四年制大学現役進学率九二・一%

全国第一〇位！

今春第二十二期生五五五名が本校を巣立ちました。進路先として四年制大学の総合格数が一〇二名、国公立大学一四三名の合格者を出すことができました。また過日発売されました「週刊朝日」紙上にて「現役進学率が示す真の実力校」というタイトルで本校の現役進学率は全国で第一〇位に選ばれました（五五五名中九二・一パーセントの五一一名が現役で四年制大学へ進学）。これも一重に卒業生諸君の頑張りと教職員の指導の賜物と感じております。在校生諸君にも是非後を継いでもらいたいものです。

国公立大学

合格人数昨年度比四割増加、

一四三名が合格

大学全入の時代の到来といわれた二〇〇七年度入試。全国的に十

八歳人口の減少にもかかわらずセンター試験志願者が増加し、国公立大学志願者は減少する入試でした。センター試験の平均点の低下が影響してか難関大学志向からやや安全志向への変化も見られました。本校におきましては、五教科七科目のセンター試験が定着し、リスニング試験（リスニングの機械操作）も全く問題なかったとの報告を受けました。結果的に国公立大学合格数は昨年度比約四割増

加し一四三名が合格することが出来ました。国公立大学を志望する場合、私立大学と比べ大学数が極端に少ないため、一般的に首都圏に目が向きやすい傾向が見られますが、二〇〇七年度のように地方の国公立大学へも目を向けることが合格を得られるカギのようです。又、多くの大学で後期日程が廃止され、募集人員が増加した前期日程で合格ラインがランクダウン、後期日程でランクアップしている大学が目立ちました。今後この傾向が続くと見られます。

国公立大学の入試制度も毎年色々と変わってきていますので、前年度の入試制度を鵜呑みにするのではなく毎年入試制度をよく確認す

る必要があります。

私立大学

志願者首都圏に集中する傾向

十八歳人口の減少の影響で入試がどう変化するのか注目していましたが、結果を見ると競争が一層激化した東京六大学を中心とする都内の有名私立大学と定員割れの目立つ首都圏及び地方の私立大学という、完全に二極分化した結果が見られました。したがって中堅レベルの私立大学では、定員割れを恐れてか、早い大学は高三が始まる直前の三月末よりオープンキャンパスを開始し、五月からAO入試の事前エントリーを開始しているところも見られました。また、

気がすっかり影を潜めてしまいました。指定校推薦枠も数多く頂きましたが志願者が少なく指定枠にかなりの余裕が見られました。全国的にも同じ状況でしたが、全国で唯一、慶応義塾大学との合併を発表した共立薬科大学だけは、卒業時は慶応義塾大学とのことで急遽受験者が殺到したようです。

私立大学について、志願者の動向のみを見ますと、新設学部を増やしたり、学部学科の改編を行ったりと、各大学がそれぞれ大学の特色を打ち出している状況です。生徒の皆さんには四年間、または六年間勉強をする大学ですので、環境面、学部学科構成、教職員、学費等必ず自分の目で確認するためにオープンキャンパスへ参加してもらっております。偏差値や人の言葉に流されず自分の目で確かめ後悔のない大学選びをしてもらいたいものです。

大学校

防衛大学校合格者数県内トップ

大学校への受験者は年々増加傾向にあります。特に今年は、最難関といわれる気象大学校に過去最高の七名が合格し、また防衛大学校一次学科試験にも過去最高の五

平成19年度入試 四年制大学入試合格者数

2007年5月1日現在

国公立大学		大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
大学名	人数	東北芸術工科	1	共立薬科	1	日本女子	16
北見工業	5	いわき明星	1	杏林	4	日本女子体育	1
北海道	1	奥羽	1	慶應義塾	11	文化女子	9
室蘭工業	1	福島学院	1	工学院	7	法政	18
岩手	1	常磐	8	國學院	8	武蔵	4
東北	5	流通経済	17	国土館	12	武蔵工業	11
山形	5	つくば国際	8	駒澤	15	武蔵野音楽	1
茨城	26	筑波学院	5	白百合女子	2	武蔵野	3
筑波	7	獨協医科	1	実践女子	2	明治	16
宇都宮	2	白鷗	1	芝浦工業	25	明治学院	8
群馬	2	国際医療福祉	2	上智	5	明治薬科	3
埼玉	7	文星芸術	1	杉野服飾	2	明星	8
千葉	6	上武	2	昭和女子	15	立教	14
お茶の水女子	2	関東学園	2	女子栄養	3	立正	18
電気通信	6	了徳寺	2	女子美術	1	早稲田	25
東京	3	跡見学園女子	3	成蹊	5	学習院女子	2
東京外国語	1	埼玉工業	1	成城	7	東京工芸	3
東京学芸	1	埼玉医科	1	聖心女子	2	神奈川工科	3
東京工業	2	明海	4	清泉女子	3	神奈川	8
東京海洋	2	城西	4	専修	16	関東学院	3
東京農工	3	獨協	14	大東文化	1	湘南工科	2
一橋	1	文教	6	大正	6	相模女子	1
横浜国立	1	文京学院	1	拓殖	16	産業能率	4
富山	1	目白	2	高千穂	2	金沢学院	1
信州	1	尚美学園	2	玉川	2	帝京科学	4
高知	1	江戸川	1	多摩美術	1	山梨学院	5
佐賀	1	川村学園女子	19	中央	21	健康科学	2
公立はこだて未来	1	神田外語	1	津田塾	2	大谷	1
釧路公立	3	国際武道	3	帝京	37	京都産業	4
宮城	1	淑徳	5	東海	18	同志社	4
茨城県立医療	6	城西国際	6	東京医科	1	佛教	1
高崎経済	2	聖徳	7	東京家政	2	立命館	4
群馬県立女子	1	千葉工業	25	東京経済	10	龍谷	6
首都大学東京	1	千葉商科	2	東京工科	7	京都文教	1
横浜市立	3	中央学院	11	東京歯科	1	大阪芸術	1
都留文科	1	帝京平成	16	東京慈恵会医科	1	大阪体育	1
大阪府立	1	東京情報	2	東京女子	9	関西	1
九州歯科	1	東洋学園	1	東京女子医科	1	関西外国語	1
防衛大学校	19	麗澤	7	東京女子体育	1	近畿	1
職業能力開発総合大学校	2	和洋女子	6	東京電機	18	阪南	1
気象大学校	7	日本橋学館	1	東京農業	14	姫路獨協	1
		千葉科学	2	東京薬科	1	川崎医科	1
		亜細亜	2	東京理科	62	東亜	1
私立大学		青山学院	12	東邦	5		
大学名	人数	大妻女子	3	東洋	30		
道都	1	桜美林	3	二松學舎	5		
北海道東海	1	学習院	10	日本	58	国公立大学	143
酪農学園	2	北里	8	日本医科	1	私立大学	959
八戸	1	共立女子	5	日本獣生命科学	1	計	1102

○名が合格することが出来ました。いずれの大学校もセンター試験前に入学試験があるため、特に国立大学へ進学希望者が国立大学の滑り止めとして、さらに受験機会を一つ増やすことが出来るので積極的に挑戦しているようです。その結果、気象大学校、防衛大学校共に最終合格者は県内の高校でトップになっています。入学後は

特別国家公務員として給与も支給されさらに就職先も一〇〇パーセント保証されていますので、大学校について本校では特に難関国立大学の試金石として、本番の雰囲気になれるため等を利用してはいる生徒もいるようです。

まとめ

本校在籍者の進路希望はほぼ一〇〇パーセント大学進学で、校内

の雰囲気も益々進学校として落ちてきた雰囲気もできてきております。生徒たちも進学先研究にとっても熱心であり、進路指導室を開放している休み時間、放課後は常に利用者が絶えることのない状況です。進路指導部教員一、二名は交代で進路指導室に常駐し生徒へのアドバイスあためております。また伝統となつてきています。また

の大学合格者の貼り出しも、個人情報保護が色々言われる中ですが、卒業生の協力を得て行われております。お近くへお越しの際は是非玄関前の進学状況や進路指導室へお気軽にお越し頂き色々卒業後の情報を入れていただきたいと思っております。

常総歴史館

昭和六〇年

「常友祭」

不思議なことに楽しい思い出はなかなか消えないもので、むしろ日が経つにつれて、鮮明になってくるものようである。私の常友祭の思い出は一、二年の担任をしていた第四、五、六、八回からのものになる。

第四回のテーマは「作る」「造る」「創る」だった。私も初めて



常友祭 入場門

の担任で、個人的にも張り切って、ポスターやパンフレットのデザインのお手伝いをさせていただいた。クラスとしては、最初のうちは、ゲームコーナーのようなものをするつもりだったが、考えがまとまらず時間切れになり、結局、休憩所を提供することになった。他クラスの企画に、客観的に参加する形だった。しかし、これは1日目がまだ終わらないうちに、「先生、俺達も何かやればよかったねー」と言う声になっていた。

第五回（REFORMATIO

N新たな挑戦）では、一年一六組が、教室をいっぱいを使い、さらに窓から尾が出るほどの巨大な恐竜作りに挑戦した。恐竜の背中に登れるように工夫し、さらに、ドラエモンのタイムトンネルを現実と恐竜の世界との橋渡しにした。他に恐竜の展示と説明が入り、恐竜との写真撮影なども入れて、一日中クラスの生徒全員で対応し、充分満足感を味わった。

生徒会企画、学年企画、クラスの企画、部活、その他グループ企画



クラス企画

と内容も複雑な構造の文化祭だったが、中でも、全員の注目を浴びたのが、その数日前に行われた生徒会企画であった。晴天の日の午後、手に手に色画用紙をもって、指定された場所に整列した。ポスターに使われた航空写真の人文字を作成したのである。

この年は常友祭の最後にボン・ファイアーがあり、企画作品を壊した後、日の暮れた暗いグラウンドに大きな炎があがった。

第六回（「歩く」―我にあれ、常に友と青春と）では前年度と同じクラスで、二年一六組と持ち上がり、はじめから積極的参加を宣言し、又全員参加を志した。

学年企画ではクラス旗を作った。A棟ホールには、企画に参加した色とりどりの布にいろいろな図案の描かれた大きな旗がかけられ、

見る者の目を楽しませた。クラス企画では活発な意見が出され、もちろん意見のくい違いは数限りなくあったが、銀賞にふさわしい物になった。教室ほぼ中央に、大きな木をあしらひ、周りを花畑にし、お茶とお菓子、その他ミックス・ジュースを提供するという趣向だった。アイデアはかなり早い段階でまとまったものの、意外に花作りに時間がかかった。しかし、時間がかかった分、仕上げも丁寧になり、特に、木の葉はチャリーダーの使うボンポンをヒントに、手に入るあらゆる種類の緑のテープで作り、非常に効果的な仕上がりになった。それは、まるで教室の天井を突き抜けて、空



ロータリー出店風景

とになった。何か一つのことに向かってクラス全員の力を結集しようとする、どのぐらい自由に、遠慮なく、クラス内で意見が言えるかにかかってくるということ、そしてそれが、最も大きな課題であるということになる。最近の傾向としては、どうしても仕事がある方へ考えがちであるということに加えて、言いだした者が損をするような、気持ちになるということのようである。

テーマは「発見」。本部企画にはカラオケ大会など、時代を反映したものが、かなり熱の入ったものとなった。

クラスの企画も、この年は、発見 DISCOVERY というこ



クラス対抗合唱コンクールにそびえる大きな木を想像させたものだった。第八回では一年の担任として、又最初から問題に取り組むこ

とからスペースシャトルのディスプレイを意識して、教室の三分の一に展示と説明を、その奥には無限に広がる宇宙を想像させる真っ暗な空間に、スペースシャトルを無数の星の中に大きく青白く浮かべた。限られた材料で、最高の効果を引き出す工夫に、生徒一人一人の能力が要求され、お互いに意外な能力を発見して、ふだんとは違った力関係が見えてくるなど、勉強の成績結果のみでは生徒個人を評価すべきでない、ということが周りの生徒に充分理解されたクラス企画だった。

今後の発展がますます期待される常友祭である。

(谷村迪子 記)

十周年記念誌『十年の歩み』再録



閉会式

常総学院高等学校同窓会における会員の個人情報の取扱いについての内規

第1条 (内規の目的)

本内規は、会員の個人情報(以下「会員データ」)の保護に関し、必要な事項を定めることにより、会員の個人情報の保護と、信頼される同窓会の実現を図ることを目的とする。

第2条 (会員データの定義と項目)

会員データとは同窓会事務局が管理している、会則に定める会員の個人情報をいう。また、管理する個人情報の事項は下記の通りとする。

- ・氏名/卒業年(卒回)/現住所/現住所の電話番号
- ・会費等の納入状況

第3条 (個人情報の利用目的)

同窓会は下記の目的に個人情報を利用するものとする。

- ・同窓会からの各種通信文の発送(会報・クラス会・同期会・支部会等含む)
- ・会員名簿の作成
- ・その他、会則に定める事業の遂行に必要と判断される諸事業

第4条 (管理者の責務)

同窓会事務局は、会の目的に即した事業の遂行にあたり知り得た会員データをみだりに第三者に漏らしたり、第3条の利用目的以外に使用してはならない。

また、管理責任者は会員データを常に、最新・正確なものに保つようつとめるものとする。

第5条 (会員の責務)

会員は、相互に個人情報の重要性を認識し、会員データは個人会員の利用目的の範囲を超えてはならず、また、第三者へ会員名簿及び会員データを提供してはならない。

第6条 (会員データ管理責任者の設置)

同窓会は会員データを厳格適正に維持管理し、会員の個人情報

の安全保護を図るため同窓会事務局内に「会員データ責任者」を置く。

第7条 (会員データの利用申請)

会員が会員相互の親睦を深め、または同窓会活動を活性化するために同期会、クラス会、支部会等で会員データを利用する時には「会員データ管理責任者」に対して、所定の利用申請書により申し込まなければならない。

第8条 (会員データの提供拒否)

会員データ責任者は、会員データの利用申込みに対して、不正な会員データ利用が疑われ、また適正な利用が妨げられると判断した場合には、申請者に対して会員データの提供を拒否することができる。

第9条 (会員データの利用状況報告)

会員データ管理責任者は、随時「幹事会」に、会員データの提供・利用状況を報告しなければならない。

第10条 (自己情報の開示及び訂正・消去の請求)

会員は、会員データの自己情報について、いつでも開示の請求ができる。

会員データ管理者は、請求者が本人であることを確認のうえ、開示請求に対応するものとする。

また、自己情報に誤りがある場合は、事務局に訂正または消去の請求ができるものとする。

第11条 (内規の変更)

会員の個人情報保護のために、上記以外の定めが必要な場合は、または変更がある場合は、幹事会にて協議し決定する。

附則

平成17年4月17日制定 この内規は平成17年4月17日から施行する。

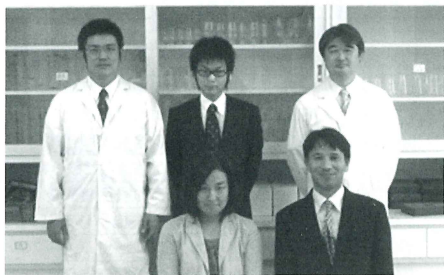
理科

職員室だより

理科には現在、常勤一七名・非常勤九名の教員がいます。

高校は田村巨先生を中心に、物理・化学・生物・地学の四科目ごとに地質標本館見学や解剖実験などを組み入れながら、大学受験対策に励んでいます。また、中学校は林寛司先生を中心に、筑波実験植物園や高エネルギー加速器研究機構・茨城県自然博物館などの見学や里山体験などを通じて、理科を体感する教育に励んでいます。

理科は研究熱心な集団なので自然科学について熱く語る機会が多く、また、理科実験セミナーに参加したり自然観察も盛んに行われたりと、行動派のメンバーがそろっています。



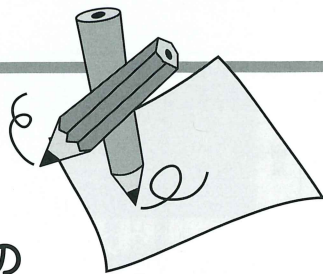
同窓会

事務局より

常総学院高等学校
同窓会総会開催のお知らせ

日時 平成20年5月25日(日)
午前10時から
場所 常総学院高等学校
視聴覚教室

会員皆様の多数の御出席をお待ちしております。



会報への
寄稿をお願い致します。

会員皆様より会報への寄稿をお願い致します。特に、同期会、クラス会開催等、卒業生の活躍に関する情報をお寄せ下さい。詳細は同窓会事務局までお願い致します。

悪質な電話(勧誘)にご注意

同窓会事務局あるいは常総学院事務局と名乗って、電話などで強引に勧誘する事件が発生しています。不審な勧誘、確認調査等を受けた場合には、即答せず同窓会事務局までお問い合わせ下さい。同窓会事務局が調査を行う場合は同窓会長や学校長の名前が入った郵便で行います。

■平成18年度 常総学院高等学校同窓会決算書■

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

●収入の部 (単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 備考. Rows include 1.会費, 2.雑収入, 3.前年度繰越金, and 合計.

●支出の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 備考. Rows include 1.消耗品費, 2.通信運搬費, 3.印刷製本費, 4.会議費, 5.旅費交通費, 6.部活動補助費, 7.記念品費, 8.広報費, 9.雑費, 10.次年度繰越金, and 合計.

上記のとおり決算いたしました。

平成19年4月7日 常総学院高等学校同窓会会長 飯田 晃 久

上記の決算書について諸帳簿関係証書を監査した結果、適正かつ正確であることを証明いたします。

平成19年4月7日 会計監査 久保田 美 幸 前川 信 史

平成18年度決算について

- 1 収入の部
当初の予算額より終身会費の納入が増えた為、会費収入が増となった。
2 支出の部
同窓会会報発行・郵送、男子バトミントン、女子バトミントン、柔道部、応援団・吹奏楽部、野球部の各部へ部活動補助、卒業生・新入生への記念品等の事業活動を行い、支出は極力経費の節減に努めほぼ、予算通りに達成された。
第89回全国高等学校野球選手権大会出場に際し会員の皆様より寄付のご協力を賜り有難うございました。

■平成19年度 常総学院高等学校同窓会予算書■

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

●収入の部 (単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 1.会費, 2.雑収入, 3.前年度繰越金, and 合計.

●支出の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 1.消耗品費, 2.通信運搬費, 3.印刷製本費, 4.会議費, 5.旅費交通費, 6.部活動補助費, 7.記念品費, 8.広報費, 9.行事費, 10.雑費, 11.次年度繰越金, and 合計.

*項目間の彼此流用することができます

上記のとおり提案いたします。

平成19年4月7日 常総学院高等学校同窓会会長 飯田 晃 久

平成19年度予算について

平成19年度予算は、平成19年度の事業計画と平成18年度の収支実績を勘案して編成した。

- 1 収入の部
卒業生への入会金、会費512名、会員年会費150名を収納予定として計上した。
2 支出の部
本年度の事業計画は、①第八号同窓会会報の発行②会員への同窓会会報郵送③各部活動への補助④卒業生・新入生への記念品が主なものである。これに基づき予算を編成した。

Table titled '平成19年度常総学院高等学校同窓会総会会報分担表' with columns for 担当, 本部役員, 学校, and 主な業務. Rows include 総務, 経理, 会報, 事務局, and 監事.

皆様のお力添えにより、今年も無事に同窓会会報第八号を発行することができました。卒業すると学校の様子などなかなかわかりにくくなってしまふ事と思います。今年も学校の様子や卒業生の活躍ぶりなどが、ほんの一部ですが、お伝えすることができました。また、皆様におかれましては、日々の活躍でぜひ紹介したい事等がございましたら、同窓会事務局までご連絡をいただければ幸いです。

毎年四月の同窓会総会を来年度から五月に開催することになりました。卒業生が学校の現状を知り、恩師と語らうことができる絶好の機会ですので、皆様お誘い合わせの上、お越しただければと思います。
これからの同窓会会報が皆様と学校の架け橋になると同時に、忙しい日々の潤滑油になればと考えております。卒業生の皆様には今後ともご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

同窓会事務局 青柳隆雄
同窓会役員一同

